

令和7年度全日本私立幼稚園連合会
第39回東北地区私立幼稚園教員研修大会
〈岩手大会〉
第二次案内（最終）

令和7年7月

東北各県私立幼稚園・認定こども園

設置者・園長・教職員 各位

一般社団法人岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会

会長 今西界雄

ご挨拶

盛夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和7年度全日本私立幼稚園連合会第39回東北地区私立幼稚園教員研修大会（岩手大会）を北上市及び花巻市を会場に開催いたします。

この2日間の大会では8園の分科会・公開保育と第9分科会では「ポスター発表」、第10分科会では「幼保小の架け橋プログラム」を設定いたしました。併せて、ECEQ®実施園も3園設けております。記念講演では、NHK おかあさんといっしょ第16代歌のおねえさん神崎ゆう子先生による「声育と‘えほんシネマ’のすすめ」をテーマに講演があります。

子ども理解をもとに一緒に語り合い、新たな発見や気づき、保育の質を高めるための道を探っていく機会になれば幸いに存じます。

東北地区の先生方の意欲と熱意で研修大会を盛り上げ、研鑽を深めていただきますことを念願しご案内を申し上げます。

多数の皆様のご参加を心からお待ちしております。

開催要項

- 1 主催 一般財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
全日本私立幼稚園連合会、北上市
- 2 協力 全日本私立幼稚園連合会東北地区会
- 3 実施 一般社団法人 岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会
- 4 後援 岩手県、岩手県教育委員会、花巻市、花巻市教育委員会、北上市教育委員会、
学校法人北上学園
- 5 期日 令和7年10月10日（金）・11日（土）
- 6 会場 9日（木） 運営委員会、分科会打合せ
ブランニュー北上 〒024-0061 岩手県北上市大通り1丁目10-1
10日（金） 公開保育・分科会及び懇親会
【花巻地区】4園（第1～4分科会）
大谷幼稚園、幼保連携型認定こども園花巻みなみ幼稚園、
中央みのり幼稚園、にじいろこども園
【北上地区】4園（第5～8分科会）
認定こども園専修大学北上幼稚園、認定こども園むらさきの幼稚園
やさか幼稚園、ふたば認定こども園双葉幼稚園
・第9分科会：ポスター発表（専修大学北上高等学校）
・第10分科会：幼保小の架け橋プログラム（専修大学北上高等学校）
・懇親会：ブランニュー北上
11日（土） 全体会/閉会式
北上市文化交流センター さくらホール feat. ツガワ
〒024-0084 岩手県北上市さくら通り2丁目1-1

7 大会主題

一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を
～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～

8 日程と内容

	9:00	10:00	11:00	13:00	15:00	16:00	17:30
9 (木)						運営委員会 (ブランニュー北上) 分科会打合せ (ブランニュー北上)	夕食会 (ブランニュー 北上)
10 (金)	受付	9:30 オリエンテーション・公開保育	12:00 昼食	13:00 分科会		16:00 移動	17:30 懇親会 (ブランニュー 北上)
11 (土)	9:30 受付	10:30 開会行事	12:15 記念講演 (さくらホール)	12:15 閉会 行事			

(注) 第9・第10分科会 受付9:30～ オリエンテーション10:00～

9 記念講演 講師：NHK おかあさんといっしょ

第16代歌のおねえさん 神崎 ゆう子 氏

演題：「声育(こえいく)と『えほんシネマ』のすすめ」

声は十人十色。保育士に必要な声はいったいどんな声なのでしょうか……。こどものうたのポイントは？「おかあさんといっしょ」の歌のお姉さんとしてたくさんの子どもたちと歌ってきた経験を講義と実技を交えてお伝えします。

そして、もっとたくさんのお絵本に触れて欲しいという願いを込めて「えほんシネマ」上映します。

【講師プロフィール】

幼少期から歌に親しみ、13年間所属したNHK東京児童合唱団では海外公演でソリストをつとめるなど才能を発揮。

武蔵野音楽大学在学中にNHK「おかあさんといっしょ」第16代うたのお姉さんに抜擢され6年間出演。爽やかな笑顔と透明感のある歌声で全国の親子のアイドル的存在になる。

番組卒業後、母校附属音楽教室の講師、Benesse、ヤマハなど各社の教材用CD・DVDへの出演や、NHKラジオ番組のパーソナリティなど、様々なメディアで幅広く活躍。また国内主要オーケストラとの共演など、歌手としてのライブ活動も継続し、その「クリスタルヴォイス」と称される歌声は幅広い層の支持を得ている。

現在。フジTVの情報番組「ノンストップ」のいいものプレミアムに出演するほか、NHK「おかあさんといっしょ」の歌唱指導、カワイこどものうたコンクール審査、「保育者のための講習～声育(こえいく)」をはじめとする、子育て世代や保育者を対象としたセミナーなど教育関連の活動を全国的に展開。

(株)YUKOGARDENを設立し、自身のプロデュースと朗読による絵本動画「うごく音えほん」を制作、これを全国の幼稚園・こども園・保育園へ向けて配信する「えほんシネマ」が好評を博している。



公開保育・分科会

No.	分科会テーマ (キャリアアップ分野/俯瞰図)	公開園	開催 地区	受入 人数
1	子どもの発達・育ちの理解 ～一人一人の成長を理解し共に育ち合う保育をめざして～ (幼児教育/D1)	学校法人麻生大谷学園 大谷幼稚園 (私学助成)	花 巻 市	70
2	生活の中での育ち ～自分の成長を喜べる子どもに～ (幼児教育/C2)	学校法人豊水久田野学園 幼保連携型認定こども園 花巻みなみ幼稚園 (幼保連携型)		60
3	幼保こ小の円滑な接続を考える ～遊びの中から小学校以降の学びにつなぐためには～ (幼児教育/F1)	学校法人花北みのり学園 中央みのり幼稚園 (施設型給付)		65
4	【ECEQ*実施園】 子どもや同僚と共に育つ保育者とは ～子どもの最善の利益につながる共主体保育について考える～ (幼児教育/B6)	社会福祉法人セントラル にじいろこども園 (幼保連携型)		60
5	【ECEQ*実施園】 子ども理解を深めウェルビーイングを高める保育実践 ～子どもの主体性「あれ？何だろう・やってみよう」を育む保育～ (幼児教育/D1)	学校法人北上学園 認定こども園専修大学北上幼稚園 (幼保連携型)	北 上 市	90
6	子どもの主体性を伸ばす保育について ～主体的な遊びを支える保育実践を探る～ (幼児教育/E5)	学校法人尚恵学園 認定こども園むらさきの幼稚園 (幼稚園型)		80
7	愛されて育つ子ども ～子ども達が共に育ち合うための保育環境を考える～ (幼児教育/A4)	学校法人江南学園 やさか幼稚園 (私学助成)		100
8	【ECEQ*実施園】 子どもに寄り添い共に作り出す遊びと環境 (幼児教育/E4)	学校法人双葉学園 ふたば認定こども園双葉幼稚園 (幼保連携型)		80
9	〈ポスター発表〉 私達のきらり☆ ～園の質向上をめざして～ 第1部:ポスター発表Ⅰ 第2部:ポスター発表Ⅱ 第3部:講演・指導助言 (幼児教育/B6)	於:専修大学北上高等学校	北 上 市	70
10	〈幼保小の架け橋プログラム〉 架け橋期を考えた幼保小連携 第1部:架け橋期の実践発表 第2部:架け橋シンポジウム コーディネーター 岩手大学教育学部附属幼稚園 副園長 佐藤和美先生 第3部:講演・指導助言 文部科学省初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育企画官 大類由紀子氏 (幼児教育/F1)	於:専修大学北上高等学校		75

助言指導者等	運営責任者	写真撮影の可否	駐車可能台数	参加者へのお願い
花巻市保育・教育アドバイザー 藤本誠子先生	学校法人麻生大谷学園 大谷幼稚園 園長 松本弘子	可 (園児の顔は不可)	50	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・大会時間中のお車のご移動はできません。
いわて幼児教育センター 岩手県教育委員会事務局学校教育室 主任指導主事 高橋文子先生	学校法人豊水久田野学園 幼保連携型認定こども園 花巻みなみ幼稚園 園長 照井睦子	可 (園児の顔は不可)	50	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。 ・大会時間中のお車のご移動はできません。
岩手県立大学社会福祉学部 非常勤講師 みどりの保育園 園長 高木宏子先生	学校法人花北みのり学園 中央みのり幼稚園 園長 千田節子	可 (職員と園児は不可)	40	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。 ・大会時間中のお車のご移動はできません。
ECEQ*メインコーディネーター 学校法人聖パウロ学園 認定こども園聖パウロ幼稚園 園長 坂水かよ先生 ECEQ*サブコーディネーター 学校法人東北カトリック学園 小百合幼稚園 園長 加藤敏子先生	社会福祉法人セントラル にじいろこども園 園長 高橋きぬ代	可 (園児の顔は不可)	50	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。
ECEQ*メインコーディネーター 学校法人郡山開成学園 郡山女子大学附属幼稚園 園長 賀門康博先生 ECEQ*サブコーディネーター 学校法人盛岡学園 認定こども園みなみ幼稚園 園長 福士晴美先生	学校法人北上学園 認定こども園 専修大学北上幼稚園 園長 小原栄子	可 (園児の顔と名前不可)	50	・クリップボードをご持参ください。
鳴門教育大学大学院 教授 佐々木晃先生	学校法人尚恵学園 認定こども園 むらさきの幼稚園 園長 中野順一	可 (園児の顔は不可)	75	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・駐車場は、近隣店舗を借りています。店舗前には駐車しないようにお願いします。
東京大学大学院 教授 遠藤利彦先生	学校法人江南学園 やさか幼稚園 園長 金子祐子	可 (園児の顔は不可)	50	・上履き、クリップボードをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。
ECEQ*メインコーディネーター 学校法人愛光学園 福島めばえ幼稚園 副園長 伊藤ちはる先生 ECEQ*サブコーディネーター 学校法人鵬学園 認定こども園百石幼稚園 園長 吉田恵美先生	学校法人双葉学園 ふたば認定こども園 双葉幼稚園 園長 今西界雄	可 (園児の顔は不可)	18	・外靴は各自でお持ちください。
盛岡大学文学部児童教育学科 教授 石川悟司先生	学校法人笹間学園 花巻ささま幼稚園 園長 多田恵	可	60	・上履きをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。
文部科学省 初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育企画官 大類由紀子氏	学校法人双葉学園 ふたば認定こども園 横川目こども園 園長 藤原奈央	可		・上履きをご持参ください。 ・外靴は各自でお持ちください。

第1分科会 大谷幼稚園(私学助成園)

子どもの発達・育ちの理解 ～一人一人の成長を理解し共に育ち合う保育をめざして～

〈法人名〉学校法人麻生大谷学園

〈園長名〉松本 弘子

〈所在地〉岩手県花巻市愛宕町 7-34

Tel. 0198-22-4575

〈規模〉園児 98名 教職員 20名

〈学級数〉5歳児 2 4歳児 2 3歳児 2

満3歳児 1

〈公開学級数〉5歳児 2 クラス 4歳児 2 クラス 3歳児 2 クラス



【園の特色】

本園は「至心」を建学の精神とし、感謝報恩の心で何事にも取り組み、強く・明るく・正しく・のびのびとした創造性豊かな子どもの育成を目指し、園生活を通して自我の形成を図り、個性を生かす教育の充実に努めている。

木のぬくもりを感じられる園舎ではだし保育、自然環境を取り入れた泥んこ遊びや野菜の栽培、田植えや稲刈り等の直接体験の他、リズムに合わせての音楽活動・個人の表現を引き出す絵画活動など、遊びから五感を育てる保育の実践に努めている。

【テーマの捉え方】

この世に生を受けてから初めての集団生活を経験する幼児期。保育は子ども理解に始まり、発達や育ちをしっかりと捉え正しく理解することは、教師に求められる資質・能力の基礎となる。

ダイバーシティ（多様性）やインクルーシブ（包括・多様）を考え、一人一人に応じた援助を行っていくことが大切である。子ども理解につながる記録の工夫や、子どもの成長、発達を可視化し、それをもとに教師同士で語り合い、多様な考えを大切にしながら多面的に子どもの姿を捉えていく姿勢が重要と考える。

そこで、子どもたちが遊びの中で興味や関心をもち、自分らしさを発揮し、伝え合うことの喜びや感動を友達と共有しながら、共に育ち合う保育を探っていききたい。

【研究の手がかり】

- 1 年齢の発達や育ち・環境構成について、資料を参考に話し合い、理解を深める。
- 2 園内研究テーマ「ワクワクした遊びを通じて学びの芽を育む」に基づき、子どもたちの姿を読み取り話し合うことで、その後の保育に活かし遊びを広げていく。
- 3 教育アドバイザー派遣を依頼し、勉強会を行う。
 - ① 各クラスのドキュメンテーションを持ち寄り、子どもの姿を話し合う。
 - ② 園内公開保育を行い、実践内容についてアドバイスを受け保育向上に繋げる。

生活の中での育ち ～自分の成長を喜べる子どもに～

〈法人名〉学校法人豊水久田野学園

〈園長名〉照井 睦子

〈所在地〉岩手県花巻市桜木町2-209

Tel 0198-23-4051

〈規模〉園児61名 教職員18名

〈学級数〉5歳児1 4歳児1 3歳児1

満3歳児・2歳児1 1歳児1 0歳児1

〈公開学級数〉5歳児1クラス 4歳児1クラス 3歳児1クラス



【園の特色】

本園は昭和39年に花巻みなみ幼稚園として開園し、令和元年からは幼保連携型認定こども園となり創立61年目を迎えた。園庭に隣接する堤防には桜の木が並び四季折々の色を見せ、緑いっぱいの広い河川敷でも園児達は散歩を楽しみながら豊かな自然環境の中でのびのびと過ごしている。「共に生活し、自己の成長を喜ぶ。自発性を受け止め、のびるときに、のびるものを、のびのびと伸ばしてやりたい」と願い、幼児一人一人の育ちを大切に保育にあたっている。また、園に伝わる活動として、アコーディオンや打楽器等の音楽に親しみ、竹馬や一輪車、まりつき等の体育遊びも憧れを持って取り組んでいる。

【テーマの捉え方】

子ども達は、いろいろな『ひと・もの・こと』と出会い、関わりの中から「やってみたい!」と思うものを見つけて手を伸ばす。五感を通して得られた情報を脳に集め、考えたりしながら身体表現機能を使って対処していく中で試行錯誤し、心と体を動かしながら成長していくと思われる。身近な人にありのまま温かく見守られ、一人の人として尊重されながら生活を送る事は、子どもの自主性を育み、自分の存在を肯定して生きていく力となるのではないかと考える。

園は、子ども達の「やってみたい!」という意欲を大切に様々な体験や経験が出来るように支え、そしてその中で「やったら出来た!」「先生見て!見て!」等と子ども一人一人が自分の成長を喜べる場所でありたい。

園に伝わる活動の経験や、子ども達の遊びの広がりの中で、「やってみたい!明日もやりたい!(子どもの日案)」と思う意欲活動の環境設定や、それと同時に年齢相応の(心と体を支える)身体表現機能のバランスと、子どもの育ちや成長の喜びを支える保育者の配慮工夫を深めていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 『自分の成長を喜べる子ども』について話し合い、理解を深める。
- 2 日々の保育実践の中で、子ども達の『自分の成長を喜んでいる姿』に着目し、エピソード記録を持ち寄る。それをもとに様々な観点から話し合い共有し合う。
- 3 子どもの心を揺さぶる意欲活動の環境設定や、子どもの育ちや成長の喜びを支えるためにはどのような配慮工夫が必要なのかを探っていく。

第3分科会 中央みのり幼稚園(施設型給付幼稚園)

幼保こ小の円滑な接続を考える ～遊びの中から小学校以降の学びにつなぐためには～

〈法人名〉学校法人花北みのり学園

〈園長名〉千田 節子

〈所在地〉岩手県花巻市大谷地 451-1

Tel. 0198-24-1553

〈規模〉園児 33名 教職員 15名

〈学級数〉5歳児 1 4歳児 1 3歳児 1

2歳児 1

〈公開学級数〉5歳児 1クラス 4歳児 1クラス 3歳児 1クラス



【園の特色】

本園は、かつて田園地帯であった自然豊かな環境に位置しており、広々とした園庭で、子ども達はのびのびと体を動かしながら虫や草花に触る等、自然との触れ合いを遊びに取り入れている。「報恩感謝（何事にも感謝の気持ち、思いやり、親切な心をもつこと）」という精神を保育の根幹に捉え、子ども達が人として大切な心を育みながら健やかな成長を願い、子ども達に寄り添った保育を行っている。

【テーマの捉え方】

日々の保育の中で、幼児教育が「生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期」であることを理解し、その基礎を培うための保育の質の向上、遊びを通して幼児が主体的に遊ぶ姿が学びにつながっていくことの大切さを感じている。

幼小接続において、私たちは小学校以降に育まれる資質・能力を見通し、遊びを通して学ぶ幼児教育の充実に取り組むことが求められている。そして、期待する子ども像を言語化しながら共有し、相互理解が不可欠である。

自園では小学校区との交流を進める中で、幼小接続の重要性について再認識している。そこで、幼児期の遊びは小学校以降において、主体的に自己を発揮しながら、学びに向かうことを可能にするための重要な時期であることを踏まえて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、日々の遊びの中から学びの芽生えや育ちが、小学校での学びにどのように繋がっていくのか探っていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 研究テーマについて保育者間で話し合い、共通理解を図る。
- 2 園の教育目標から「期待する子ども像」を具体化し、園の良さや課題を把握する。
- 3 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに、ドキュメンテーションから子ども達の育ちや学びの様子を読み取り、日々の保育を小学校教育に繋がられることを意識し、研究していく。

第4分科会 にじいろこども園(幼保連携型認定こども園)

【ECEQ®】子どもや同僚と共に育つ保育者とは ～子どもの最善の利益につながる共主体保育について考える～

- 〈法人名〉社会福祉法人セントラル
〈園長名〉高橋 きぬ代
〈所在地〉岩手県花巻市東宮野目 13-95-4
TEL 0198-41-3022
〈規模〉園児 88名 教職員 24名
〈学級数〉5歳児 1 4歳児 1 3歳児 1
2歳児 1 1歳児 1 0歳児 1
〈公開学級数〉5歳児 1クラス 4歳児 1クラス 3歳児 1クラス 2歳児 1クラス



【園の特色】

本園で幼い頃を過ごした子どもたちが、やがていろんな色を輝かせて世界にはばたき、明確な目標をもって自分の生き方を選べるリーダーに育つような願いを持ち、次の教育・保育目標を掲げている。

【に】にこにこ笑顔のやさしい子 【じ】自分で考え行動する子 【い】意欲をもってチャレンジする子
【ろ】ころんでも起き上がる元気な子 そのために、安全・安心・信頼のある日常生活のもと、豊かな経験や五感を使った活動を通して心を育て、主体性、自己肯定感、探求心、人と関わる力等の“目には見えない大切な力”、生きる力を育むため、同僚との学び合いを大切にしている。

【テーマの捉え方】

日常生活の中で、子どもと保育者の両者が「私」の部分を表現し、認めたり反発したりする中で「集団の中の私」が深まっていくのではないだろうか。お互いの主体性のバランスを保育者が統制していきながら双方向的で互恵的な関係が共主体につながると考えている。

子どもたちが思わず遊びたくなる環境、自分たちで遊びを選べる環境を提供するために、日々の保育を考察し保育者間で対話を深め、多様な考え方を大切にしながら、子どもがワクワクするような、遊びの広がりが見えてくる関わりについて学びを深めていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 「子どもの最善の利益」「同僚性」「共主体」を手がかりに「子どもや同僚と共に育つ保育者とは」について、保育者間で語り合う。
- 2 子どもの遊びが変化し、展開したと思われる前後の保育者の関わり(言葉かけや環境構成)に着目し、その関わりが子どもの遊びにどのような影響を与えたのか記録し、それを基に読み取りを深めていく。
- 3 園内で公開保育を行い、子どもの姿を幅広い視点で捉え、多面的に読み解き意味づけ、専門性を高め合う。

第5分科会 認定こども園専修大学北上幼稚園(幼保連携型認定こども園)

【ECEQ®】子ども理解を深めウェルビーイングを高める保育実践 ～子どもの主体性「あれ？何だろう・やってみよう」を育む保育～

〈法人名〉学校法人北上学園
〈園長名〉小原 栄子
〈所在地〉岩手県北上市鍛冶町 1-4-70
Tel 0197-64-6006
〈規模〉園児 192名 教職員 41名
〈学級数〉5歳児 2 4歳児 2 3歳児 2
2歳児 1 0・1歳児 1
〈公開学級数〉全クラス



【園の特色】

専修大学の建学の精神「報恩奉仕」のもと、「げんきなこども おもいやりのあるこども みんなのしくあそべるようちえん」を教育・保育目標とし、子ども達の健康な心と体、思いやりをもって人と関わる力、遊びや活動を通して自ら環境と関わる力を育てている。また、子ども達は、北上学園系列校である専修大学北上高等学校の生徒や専修大学北上福祉教育専門学校の学生、地域の方々との交流を保育に取り入れることにより、安心して園生活を送ることができるようカリキュラムを組んでいる。

【テーマの捉え方】

子ども理解に努めることは、教育目標達成や子ども達の園生活のウェルビーイングを保障する第一歩であると考えます。

本園は、こども園移行やコロナ禍を経て行事や活動・生活の仕方など見直しをしながら「子どもの発育・発達に即した保育」「未満児から以上児、幼小接続を見据えた連続性のある保育」を心がけ保育実践を行っている。また、研究テーマである「子ども理解」に関しては、子ども達の好きな遊びの発見や把握をすることで、発達に応じて一人一人にあった指導・援助を目指すことができると考えた。さらに、子どもの可能性と良さの理解、保育記録（観察表や座席表）の活用、遊びの創造や工夫を行い、これを受けて、環境構成の研究及びアクティブラーニングの実践を柱に引き続き取り組んでいきたい。

また、ECEQ®公開保育を通じて自園の保育を振り返り、他園からご意見をいただきながら、子どもの発達や育ちの理解を深め、保育の質を高めていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 園内研修や保育観察により、子ども理解を深め、子どもの主体性を育む環境を考える。
- 2 PDCAサイクルを活かした子ども理解と実践の質的向上を図る。
- 3 ECEQ®コーディネーターと共に自園の良さと課題を認識しながら理解を深める。

第6分科会 むらさきの幼稚園(幼稚園型認定こども園)

子どもの主体性を伸ばす保育について ～主体的な遊びを支える保育実践を探る～

〈法人名〉学校法人尚恵学園

〈園長名〉中野 順一

〈所在地〉岩手県北上市村崎野 14-441-1

Tel 0197-66-2153

〈規模〉園児 125名 教職員 28名

〈学級数〉5歳児 2 4歳児 2 3歳児 2

〈公開学級数〉全クラス



【園の特色】

緑豊かな山々に囲まれ清く澄んだ北上川が流れるここ北上の北部に「むらさきの幼稚園」を開設し、以後、五十余年の年月が流れた。

本園は、広々とした園庭、室内アスレチックなど、豊かな教育環境の中で、子ども達の健やかな成長を願いながら教育を営んできた。園運営の底流にあるのは、本幼稚園でしか体験できない活動を、という思いである。日常のクラスでの活動の充実を基盤に、四季折々の季節行事の際には集会を行ったり、英語教室、体育教室、サッカー教室、ダンス教室を取り入れたりしてきた。それにより、日々の活動に子ども達自らが意欲をもって参加し、のびのびと体を動かしたり表現したりすることを楽しんでいる姿が見られる。そして、園児一人一人が園章に示されている「むらさき草」のように、この大地にしっかりと根をはり、大空に向かって力強く羽ばたいている。

【テーマの捉え方】

本園は「恵まれた環境の中で心身ともにたくましく情操豊かな人間性を身に付ける」を教育目標とし、日々保育に努めている。教育目標の実現のため、一人一人の幼児理解に努めながら関わり、子どもの成長を支えていきたい。

本園では、子どもが興味や関心を示し、「おもしろそう」「やってみたい」と思い行動する姿を「主体的」と捉えている。主体的な遊びを積み重ねることにより、子ども自身が、気づき、考え、行動する「主体性」が育つと考えた。しかし、主体的な遊びが感じられる場面が断片的であったり、一過性のものを感じられたりすることもあるため、改めて教育理念の理解を深めたうえで、主体的な遊びの環境構成や援助はどうあるべきかを考える必要性を感じている。また、教師間での共通理解や援助の在り方に一貫性をもたせることで、より子ども一人一人の主体性を育むことができるのではないかと考える。

行事や集団での活動が多くあることが本園の特色であるが、その中で子どもが自己を十分に発揮するためにはどのような保育を展開していくと良いのか、また、子どもの主体的な遊びから主体性を伸ばす保育とはどうあるべきかを考えていきたいと思い、本主題を設定した。

【研究の手がかり】

- 1 「主体性」の言葉の意味を理解し、目指す子どもの姿について話し合いを重ねる。
- 2 日々の保育から「主体性」が感じられる事例を出し合い考察する。
- 3 環境や援助の在り方を見直しながら、遊びや生活の場を再構成していく。

愛されて育つ子ども ～子ども達が共に育ち合うための保育環境を考える～

〈法人名〉学校法人江南学園

〈園長名〉金子 祐子

〈所在地〉岩手県北上市北鬼柳 19-6-1

TEL 0197-63-4832

〈規模〉園児 68名 教職員 11名

〈学級数〉5歳児1 4歳児1 3歳児1
満3歳児1

〈公開学級数〉5歳児1クラス 4歳児1クラス 3歳児1クラス



【園の特色】

季節を感じながら、力いっぱい外で遊び、自分の心を開放して気の合う仲間や大好きな友達、教師と遊ぶ中からいろいろなことに気づき、自分で学びとる力、どうしたら良いかを考える力、新しいことに挑戦する力、我慢する心と頑張る心、意欲いっぱいの生きていく力を育てたいと考えている。小学校に入るまでに、人の話を良く聞いて自分の考えを言葉に表し、伝えることができる子どもを目標に、今日しかない一日を大切に過ごしている。

【テーマの捉え方】

本園の教育目標に「自然や社会に対して興味を持つ子に」があり、その具現化として～他の子へのいたわりや思いやりの心を持つ子～と掲げている。本園は、子ども達は「乳児期にたくさんの家族に愛されて育ってきた子ども達」を前提として、子ども達が遊びや活動において、明るく楽しく生活が出来ることを目指して日々保育をしている。家族に愛されて育ってきた子どもは、自分の経験から優しさや思いやりの心が育ち、友達との関わりの中で自分から気がついて、友達や小さい子へ寄り添う行動を表すことができる考える。

新学期や新しい遊びを提供する時に、教師が正しい使い方や安全な遊び方を繰り返し確認することで、子ども達同士が自分や友達の安全を守れるようになってほしい。

教師が家庭との関わりを密にし、子ども達一人一人に寄り添い、子どもの思いを受けとめ、信頼関係を築きながら子ども達が安心感を持ち、共に育ち合うための保育環境を考えていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 愛着形成の基盤となる家庭環境を教師間で共有する。
- 2 異年齢との生活や遊びの様子から子どもの姿をとらえる。
- 3 一人一人の思いに寄り添い、共に育ち合うための保育環境を考える。

第8分科会 ふたば認定こども園双葉幼稚園(幼保連携型認定こども園)

【ECEQ®】子どもに寄り添い共につくり出す遊びと環境

〈法人名〉学校法人双葉学園

〈園長名〉今西 界雄

〈所在地〉岩手県北上市花園町2丁目5番50号

TEL 0197-65-2800

〈規模〉園児 160名 教職員 38名

〈学級数〉5歳児 2 4歳児 2 3歳児 2

2歳児 1 0・1歳児 1

〈公開学級数〉5歳児 1クラス 4歳児 1クラス 3歳児 1クラス



【園の特色】

本園は仏教保育を基盤とし、真宗保育の理念に基づき一人一人のあるがままを認め自分らしく伸び伸びと生活し、遊びを通して個性豊かに育つよう、また仏教の行事を通して命の大切さや感謝の気持ちが育つよう一人一人を大切にしながら日々保育に努めている。

【テーマの捉え方】

本園は仏教保育を基盤とし、主体的な「心情・意欲・態度」の育成を目的とし、一人一人の存在を認め合い、「共に生き、共に育ち合う保育」の実践を目指している。

子ども達にとって遊びは「なぜ」「なんだろう」「やってみよう」など興味・関心・探求心が育つ学びの場となる。その中で、一人一人が自分らしさを表現し、主体的に「遊びを楽しめる・夢中になれる遊び」となる環境や保育者の関わり方について、自分達の保育を振り返り、子どもの育ち、自園の良さや課題を職員間で共有し合いながら、予想される子どもの姿など見通しを持った保育の中で、子どもと保育者が共に育ち合う保育を ECEQ® コーディネーターと共に考え実践を通して探っていきたい。

【研究の手がかり】

- 1 子どもならではの視点による発見や疑問を継続的に視覚情報で共有しながら、連続的な遊びに繋がる手立てを子どもと共に探る。
- 2 保育者も一体感をもって遊びこんでいく中で、子どもがどのようなことに、探求心や楽しさを感じ、充実感を味わうことができるのかを探る。
- 3 自分達の日々の保育の振り返りを行い、子どもの姿や課題を保育者間で共有し援助や環境について考える。

第9分科会 ポスター発表園と発表概要

私達のきらり☆ ～園の質向上を目指して～

① 青森県 学校法人青森田中学園 認定こども園 青森中央短期大学附属第二幼稚園

テーマ「子どものつばやきからつながる、活動意欲を引き出す保育実践～ワクワクすることやってみよう♪～」

発表者 工藤この美(指導教諭) 小笠原羽夢(教諭)

昨年度の振り返りから、活動に対して子どもたちの消極的な面が見られることが気になり、今年度はやってみたい、できるようになりたいという活動意欲や、挑戦する心を引き出せるような保育に力を注ぐこととなった。当園では日頃、子どもたちの今の姿(育ち)を捉え遊び(学び)につなげるために、子どものつばやきに耳を傾けるよう意識しているが、経験の浅い保育者にとって、つばやきを捨てることや、それをどのように遊びにつなげられるのか見通しを持つことは容易ではない。そこで、実践の中で子どもの心が動いた瞬間を見逃さず、育ちや保育の手立てをよりの確に捉えられるように、職員間の日々の語り合いを大切にしている。

保育実践をご紹介します、皆さまとの対話から気づきを得ることで、これからも子どもたちと共にワクワクしながら学び続ける原動力としたい。

② 青森県 学校法人弘前文化学院 文化幼稚園

テーマ「紙作りに学ぶ ～紙ってどうやってできるの?～」

発表者 花田洋子(教諭)

園の所在地である紙漉(かみすき)町は、紙漉きに適した清水の湧くこの地で、古くから紙漉きが行われていたことに由来している。園では毎年、各学年で紙漉き体験を行っているが、今年度の園内研修のテーマが「教材研究」であることから、紙を漉く過程だけではなく、様々な素材にも着目し、紙漉きに取り組んでいる。

子ども達が紙漉きに取り組むにあたり、紙が何からできているのかを考え、話し合い、実際に試してみる中で、様々な発見を楽しんでいる。身近な植物にも目を向け、それを取り入れながら紙漉きをする中では、予想とは違う結果になることもあるが、試行錯誤を大切にしながら、考える力を育むことができるよう、子どもと共に教師も活動に取り組んでいる。

③ 秋田県 学校法人山崎学園 幼保連携型認定こども園 能代南幼稚園 南ベビー保育園

テーマ「子どもと共に作り出す活動と環境 ～子どもも保育者もわくわくする環境作りを目指して～」

発表者 神山亜紀(主幹保育教諭)

環境にかかわって様々な活動を生み出していく子どもたちの姿を、日々の保育日誌やエピソード記録等で捉え研究を進めている。子どもたちが豊かな体験をするための、保育者の意図的・計画的環境と、子どもたちが作り出す環境がどんな場面で見られているのかを探り、記録することで子どもと共にわくわくする環境づくりを目指している。

年長児を中心に、環境にかかわって様々な活動を生み出していく子どもたちの姿を、写真を用いながらポスターにまとめて発表していきたい。

④ 秋田県 学校法人双葉学園 幼保連携型認定こども園双葉幼稚園

テーマ「質の高い教育・保育を目指して 子ども理解～発達過程を記録化・可視化するための手法と活用～」
発表者 長谷川育子(副主任保育教諭) 佐藤かなえ(保育教諭)

多様性が重要視される社会において、一人一人と向き合い、寄り添いながら子ども理解に努めてきた。援助の仕方に迷った時や子どもの変容など子どもの育ちを記録し可視化することで、様々な視点から子どもの理解を深め合い、職員間で共有することができると考え進めてきた。これまでの取り組みの成果・課題から自分たちに適した方法を探り、写真を使った「フォトカンファレンス」を導入した。今年度始めたばかりの手法ではあるが、子どもの「きらり☆」保育者の「きらり☆」を感じてほしい。

⑤ 宮城県 学校法人啓明学園 緑ヶ丘第二幼稚園

テーマ「主体性を育む保育～幼児が自分から興味をもって関わりのびのびと表現するための環境構成～」
発表者 金子友紀(教諭)

昨年度 ECEQ®を活用した公開保育を実施した。改めて幼児が主体的に遊び込むためにはどのような環境と援助が必要なのか考えていった。それを、日々の保育に落とし込み、クラスや学年で振り返り、再度実践に活かしていった。ECEQ®当日の保育の実践、公開保育でいただいた意見をさらに学びにつなげるため、園内研修を進めていくことにした。幼児がやってみようと意欲をもち遊び込み、主体的にその環境に働きかけていく過程における教師の関わりや環境構成について考えた。

また、ECEQ®当日までの姿を踏まえ、各クラスの教員が問いを持ち保育を振り返っていった。その中で他園の先生方から学んだ事や、ECEQ®を通して教員間での対話の中で気付いたことをさらに掘り下げ、可視化していくためポスターとしてまとめた。

⑥ 宮城県 学校法人石輝学園 矢本はなぐさ幼稚園

テーマ「豊かな心を育む ～ICTを活用した保育を通して～」
発表者 鈴木重子(主幹教諭)

本園では「豊かな心を育む」をテーマに4年間取り組み、今年度はこれまでの研究成果と時代背景を考え合わせ、ICTを活用した保育をサブテーマとして研究に取り組んできた。子ども達と教師と一緒に学びながら取組、保育活動の導入として動画や他学年の様子を知らせることで、子ども達がより活動に興味を持つきっかけとなり、主体的な学びに繋がっているという成果を感じた一年であった。幼児期の遊びを通じた学びから小学校教育へのつながりをふまえ、豊かな心を育めるよう日々の保育を実践しているところである。子ども達が興味や意欲を持って活動に臨んだり、友だちの考えに関心を示し協同的な面を見せたりするようになった姿を、発表できればと考える。

⑦ 山形県 学校法人金沢学園 認定こども園金沢幼稚園

テーマ「やりたい!!やってみたい!!あそびが生まれる環境」

発表者 福澤麻衣(教諭)

自園はオープンスペースの中で、子ども達が好きな場所で好きなあそびに取り組めるようになっており、担任は決まっているものの（活動によっては縦割り保育を行い）沢山の先生や友達とかかわってあそんだり、活動したりしながら過ごすことができるという特色があります。しかし、コロナ禍により様々なことが制限され、オープン保育という自園の良さを生かせない時期が続きました。徐々にコロナ禍以前の保育に戻りつつありますが、教師自身も子ども達も伝え合う力が弱い、自分で考えて発信したり行動したりすることが苦手、決められた活動やあそびの方が安心できる、自発的に行動することに自信がもてない等の姿が見られます。改めて様々な環境を見直すことで、子ども達の「やりたい!!やってみたい!!」という気持ちを引き出し、子ども同士のかかわりが広がったり、子ども達が自由に発想したり、思いを伝えあいながらあそべるようになってほしいという願いから今回のテーマを考えました。

⑧ 山形県 学校法人巨溪学園 普慈幼稚園

テーマ「『つながりの輪』～人や生きもの、様々な環境の中で育つもの～」

発表者 伊藤桃香(教諭)

近年の子どもを取り巻く生活環境の変化は様々であるが、それは幼児教育の場にもいろいろな形で影響を与えている。

当園においても特に、少子化の影響を大きく受けている中、少人数保育だからこそ「出来ることがたくさんある」ということを大切に、日々保育と向き合っている。

幼児期的人格形成に大切な「人と人」「人と生きもの」「人と環境」など、様々な状況での関わり合いは、自ら考え自ら学ぼうとする姿が育ち、それは特に年長児を中心に成長の過程が大きく見られた。

また、それぞれが「近い距離」で影響し合えることで、点と点が線となり、5歳児の育ちに影響された異年齢児の子どもたちへも、興味関心が広がって大きな輪となりつながりを見せている。

こういった環境での子どもたちが、どのように自分自身に自信をもち、自分を大切に思い、自己肯定感を高める人間形成を行っていきけるのか、具体的な育ちを追っていきたい。

⑨ 福島県 学校法人愛光学園 めばえ幼稚園

テーマ「『今まで』を変えて、『これから』へ ～子どもたちの「したい」を叶える環境を考える～」

発表者 村松夏実(教諭) 大河内理央(教諭)

自園の特色である樹種・草花豊かな自然環境。子どもたちが園庭でのびのび過ごしていれば「子どもは遊べている!」と思っていた私たち。

一方、園内では、室内での遊びが見つけれずにいる姿、廊下や遊戯室で走り回る姿、年間を通して変化の少ない屋内環境。遊びの設定を考え直さなければいけないのでは?と意識改革がおきたことで、これまでの「これでいい!」を払拭し、“遊び”について改めて考え、目の前の子どもたちの姿を捉え、環境を再構成してきた。

保育者も悩み、語り合いながら、これからの子どもたちに大切なことって何だろうと遊び環境から活動、行事の在り方を見直してきた。子どもの遊びが少しずつ変わり、子どもたちが自ら考え、遊ぶ姿が見られるようになってきた3年間の記録。

⑩ 福島県 学校法人尚志学園 尚志幼稚園

テーマ 「食育活動を通して見えた子ども達の学びの物語」

発表者 金澤右子(主任) 伊藤温美(教諭)

本園の特色である、健康教育の一環として、様々な食育活動を行っている。中でも、自園給食は子ども達の食への興味関心を高め、様々な食材を知る大切な時間となっている。食べられる量を考えて自分で取って食べる「バイキング給食」や、自分で食べたい味を選んで食べる「セレクトメニュー」、自分で作って食べる「クッキング」など、様々な経験を通して食べる事への意欲に繋がるよう取り組んでいる。しかし、なかなか食べ進められずにいるのが緑色の野菜である。にんじんやとうもろこし、キャベツなどは食べられるようになった子が多いが、ピーマン、ハウレンソウ、小松菜などは難しい姿が多くみられる。そこで、緑の野菜を実際に育てることで、子ども達の意識はどの様になるかを研究したいと考えた。子ども達が主体的に栽培に関わりながら、保育者や友達との対話を通して学んだ姿を発表したい。

⑪ 岩手県 学校法人二戸学園 岩手保健医療大学附属認定こども園

テーマ 「“食べる”がもっと好きになる ～食体験を通して育まれる豊かな感性と子どもの成長～」

発表者 駒木由里加(主幹保育教諭)

本園では、畑活動、クッキング、魚さばき体験、保存食作り、青空給食、そして栄養士による食育講話など、子ども達が楽しみながら参加できる様々な食育活動を行っている。これらの活動は互いに関連し合い、相乗効果を生み出す事で、子ども達の食に対する関心や意識を高めるとともに、家庭での食育へと繋がる重要な役割を果たしていると感じている。食は、健やかな身体を育むだけでなく、自然や命への感謝の気持ち、育てる喜び、共に食べる楽しさなど、幼児期の情緒的な豊かさにも深く関係している。

そこで本研究では、園での食育実践を通して、子ども達が「食べる力」、すなわち「生きる力」をどのように育てていくのかに注目する。又、子ども達が食体験を通して何を感じ、どのように興味を深め、成長していくのかを丁寧に観察し、その姿を捉える事で、今後の保育実践に生かす手がかりを得たいと考える。

⑫ 岩手県 学校法人岩手キリスト教学園 のぞみこども園

テーマ 「子どもの『きらり☆』を引き出す環境 ～夢の園庭を目指して～」

発表者 米内小百合(主幹教諭)

主体的な保育を考えていく中で、園庭の環境について「泥団子を作る土が欲しい」「バラの花は綺麗だけれど、棘があるので危ない」「ごっこ遊びや色水遊びに使える草花が欲しい」などといった保育者からの声が、様々な場面で聞かれるようになり、小さな園庭ではあるが、よりよい環境にしたいという保育者の思いがあふれてきた。

「どうしようもない」とこれまで諦めてしまっていたが、このポスター発表に後押しされ、保育者の声を形にする第一歩を踏み出した。

園内研修等で、“子どもが遊び込める”“主体的に遊べる”園庭を目指して学び始め、「どんな園庭にしたい?」「今できることは?」「園庭で主体的に遊ぶとは?」「子どもたちが求めていることは?」など、子どもが明日も遊びたい園庭を目指して園庭改造に取り組んでいく。

⑬ 岩手県 学校法人つばめ学園 幼保連携型認定こども園つばめ幼稚園

テーマ「子どもと作る遊び～わくわくがいっぱい～」

発表者 高橋美穂(保育教諭)

本園では、幼児教育の本質である「あそびから学ぶ」を常に追求しています。そこから生まれたのが、わくわくたいむです。わくわくたいむとは、各保育室前の広いフロア(わくわくひろば)に様々な遊びのコーナーを設定し、「探して、やってみて、夢中になって、大きくなろう」をモットーに登園後からクラス活動に入るまでの遊ぶ時間です。

わくわくひろばは、保育者が意見を出し合い子どもの姿や時期に応じた遊びを考えて提供し、異年齢で遊ぶことで友達同士刺激を受け遊びが広がります。

今回は、わくわくひろばのコーナーの一つである「アトリエ(絵の具)」に焦点を絞り、五感を使いながら自由に表現をしている子ども達の姿や保育者の関わりを紹介します☆

⑭ 岩手県 学校法人湯本学園 ゆもと幼稚園

テーマ「人とのかかわりを通して言葉を育む」

発表者 佐々木環奈(副園長兼教務主任)

近年、デジタル機器の普及により、家庭においてゲームや YouTube に占める時間が増えている子が多くなってきている。また、「人と会話する時間」が減り、言葉によるやり取りが難しいと思われる子が増えてきたように感じる。そのためか、自分の思いをうまく言葉にできない子や人とのかかわりが希薄になっている子が見られるようになってきたのではないかと考えた。

そこで、私たち保育者は自分の思いをうまく表現できない子への援助やかかわり方について園内研修等で協議しながら取り組んでいる。子ども達自身が主体的に物事を考えられたり、言葉による伝え合いによって友だちとのかかわりがうまくできるよう普段の遊びや運動会等の行事を通して、どのように変化し成長していくかを探っていきたい。

⑮ 岩手県 学校法人東北カトリック学園 暁の星幼稚園

テーマ「幼児が自然を愛し、豊かな感性を育む環境構成を考える」

発表者 菊池瞳(教務主任)

本園はカトリック幼稚園である。教育目標の「神を人をそして自然を大切にす愛の心を育てる」を基本として、幼児一人ひとりと丁寧に向き合い、自然との関わりを大切にす保育に努めている。

幼児が自然の素晴らしさ、心地よさ、不思議さ、面白さを感じて遊ぶ経験を通して、自然を愛し、豊かな感性が育つことを願い、様々な自然環境に触れる機会を多く持つことができるよう環境作りを行ってきている。園庭の自然環境の充実に向けて、草花栽培、野菜栽培、虫の生息しやすい環境作りに取り組んでいる。また、園外保育の機会も増やしてきた。

幼児が自然に親しみ楽しむ様子を記録し、幼児の育ちや遊びの広がりを探り、より良い環境構成の仕方について考えていきたい。

⑩ 岩手県 学校法人吉祥学園 認定こども園水沢こども園

テーマ「専門性を高めながら園務改善を図るための取り組み」

発表者 渡邊千恵(主幹保育教諭)

本園は大正元年に創立され、100年を超え幼稚園として運営してきた。平成23年から幼保連携型認定こども園となり、平成27年からは水沢こども園と名称を変え、子ども・子育て支援新制度の下、教育・保育を行い現在に至る。幼保一体型の施設としての機能は多岐に渡り、知識・能力・専門性をより高めていくことはとても重要なことであるが、こども園になったことで職員が増え、勤務形態や経験年数のばらつきが多くなる中、どのようにして全職員がそれらを高めていけば良いかが大きな課題となっていた。そのような背景から昨年度は質の向上に向け取り組んできたが、それにより様々な側面から改善点を見つけることができた。そこで今年度は、更に園務の改善を図りながら専門性を高めるためにはどのように取り組んでいったら良いかということに重きを置き、実践しながら探っていくことにした。

⑪ 岩手県 学校法人願成寺学園 認定こども園一関幼稚園

テーマ「IKC(一関幼稚園キッズコレクション) ～一人ひとりがキラリ☆と輝く～」

発表者 小野寺淳子(指導保育教諭)

本園では、こどもたちが一人ひとり輝き、園生活を送れるような取り組みを目指している。テーマとなっている「IKC」は、3年前に一関市で開催されたTGC(東京ガールズコレクション)がきっかけとなっている。年長組は自作の衣装を身につけたファッションショーでランウェイを歩いたり、他の学年の園児もみんなで一緒にダンスをしたり個々に得意なことを披露したりなど、みんなで楽しめる活動になっている。友達や先生と楽しい空間を共有し、「幼稚園楽しい」「明日も幼稚園に行きたい」と感じられる経験、また、お客さんに喜んでもらったりチャレンジしたことを認めてもらったりした経験がこどもたちの自身になり、次への意欲へ繋がることを願っている。

⑫ 岩手県 学校法人樅木学園 おさなご幼稚園

テーマ「行事の取り組みと子どもの育ち」

発表者 山崎侑奈(主任教諭) 伊藤利依子(教諭)

本園では、運動会、夏祭り、生活発表会、生誕劇・音楽発表会、作品展など様々な行事を行い、園の特色としている。

これまでの行事の取り組み方を振り返ってみると、伝統や慣例に沿って行っていたり、保育者が中心の取り組みが多くなっているのではないかと考える。子どもの実態としては、自分の考えや思いを表現することを苦手としたり、自信を持たず自分から取り組めずにいる子が多い。大人との関わりを好む傾向の子もいる。

行事の中に子どもたちの体験を多く取り入れながら取り組む中で、目標に向かう意欲を持ち、達成感や充実感を味わい自信につながる経験の場としていきたい。

そこで、子どものつぶやきを拾い、写真などを使い子どもの姿を記録し、子どもたちの育ちを捉え、どのように成長していくか研究していきたい。

第10分科会 幼保小の架け橋プログラム

架け橋期を考えた幼保小連携

架け橋プログラムの重要性、推進が謳われる中、各地区がそれぞれの実情に合わせて、幼保小連携の在り方を模索している。参加者の「今そこ」に合致した実践発表を通して、自分達の園がこれまでの取り組みより一歩進んでいく事、さらには持続可能な取り組みになる事を目指し、相互に学びあえる場としたい。また、小学校の先生の生の声を聞き、対話を通して、園とは違う視点から見た架け橋プログラムの実際について考えていきたい。

第1部 架け橋プログラム実践発表

実践発表①:学校法人スコレ スコレ幼稚園 発表概要

複雑化し、変化する社会の中で子どもたちは様々な難しい課題に直面していく。私たちの教育はどう対応していくのか。今回の研究発表では、幼稚園が考える幼小連携による「資質・能力を育てる」教育改革の全体像について説明したい。またこの全体像について、小学校と理解し合い共有していくための対話と交流に取り組んできた経過と課題について報告したい。同時に、建学の精神「生活即教育」を土台とした、架け橋期を視野に入れた幼稚園の「資質・能力を育てる」教育の取り組みと課題について事例を中心に報告したい。

実践発表②:学校法人双葉学園 ふたば認定こども園横川目こども園 発表概要

架け橋カリキュラム作成にあたっての市内の小学校・園の取り組みから、施設類型の異なる園同士の横の繋がり的重要性について考えたい。また、小学校側が捉えた成果と課題から、私達は何を学ばなければならないのか、異なる視点からの気づきを通して、架け橋プログラムを持続可能なものとするためには、どんな取り組みが必要なのか、実践を基に学びを深めていきたい。

第2部 架け橋シンポジウム

コーディネーター: 岩手大学教育学部附属幼稚園 副園長 佐藤和美 先生

パネリスト: スコレ幼稚園

ふたば認定こども園横川目こども園

北上市立江釣子小学校

指導・助言: 文部科学省初等中等教育局 幼児教育課

幼児教育企画官 大類由紀子 氏

第3部 講演

文部科学省初等中等教育局 幼児教育課 幼児教育企画官 大類由紀子 氏

懇親会のご案内

日 時： 令和7年10月10日（金） 17時30分～

会 場： ブランニュー北上 「SAKURA（サクラ）」

〒024-0061 北上市大通り1-10-1 TEL 0197-72-7075

会 費： 8,000円

- * 分科会終了後、「懇親会」を開催いたします。東北各県の先生方の交流の場として是非ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

東北地区会運営委員会

日 時： 令和7年10月9日（木） 15時～17時30分

場 所： ブランニュー北上

〒024-0061 北上市大通り1-10-1 TEL 0197-72-7075

- * 運営委員会終了後、講師・助言者・分科会責任者等との顔合せ、夕食会を設けております。

分科会打合せ会

日 時： 令和7年10月9日（木） 16時～17時30分

場 所： ブランニュー北上

〒024-0061 北上市大通り1-10-1 TEL 0197-72-7075

大会参加申込みのご案内

1 参加申込

申込みは「ゆたかなナビ」によりお手続きください。園単位での申し込みをお願いします。

2 申込期間

7月14日(月)9時～8月18日(月)23時59分まで

各分科会参加者は先着順の受入れとなります。各分科会とも、受入れ人数になりましたら締め切りとなります。

3 諸費

(1) 参加費 6,500円/人(昼食代1,500円含む。お茶付)

(2) 懇親会費 8,000円/人

懇親会に参加される方は、懇親会参加を選択してください。会費は参加費と一緒に振込みください。

4 諸費のお振込み

「ゆたかなナビ」に振込先が表示されますので、参加申込み後、1週間以内のお振込みをお願いします。その際の振込手数料は、誠に恐れ入りますが各園でご負担をお願いします。

なお、大会が中止となった場合は、返金の対応をさせていただきます。自己都合で参加を取り消された場合は参加費の返金はいたしかねますので、ご了承ください。

5 シャトルバス(無料)ご利用の申込み

次の分科会及び全体会にご参加の方は、最寄駅発着のシャトルバスをご利用できます。利用を希望される方は「シャトルバス利用」を選択してください。

【10月10日】

①第1～第4分科会：新花巻駅及び花巻駅 ②第5～第8分科会：北上駅

【10月11日】

①全体会：北上駅

利用希望の人数が多い場合は、会場まで2往復いたしますので、できるだけ早い時間のシャトルバスをご利用ください。

6 駐車場について

各分科会の駐車場の台数は限られておりますので、乗り合わせでのご協力をお願いします。また、先着順となりお断りすることがありますので、満車の場合は、近隣のパーキングをご利用ください。

7 変更・中止等の連絡

大会に変更が生じた場合や中止等となる場合は、「ゆたかなナビ」によりメールをさせていただきます。前日に急な変更等が生じる場合もありますので、確実に連絡が取れるように各園で調整をお願いします。

8 宿泊の斡旋

宿泊を希望される方は、別紙の「近畿日本ツーリスト ご宿泊のご案内」をご覧ください、指定の宿泊申込書により宿泊の手続きをしてください。

9 個人情報の取扱いについて

ご登録いただきました個人情報に関しては、当研修大会に関わる目的以外での利用はしません。

また、その取扱いにつきましても、厳重に管理し、法令等を遵守します。

10 その他

ご不明な点は、大会事務局までお問合せください。



**令和 7 年度全日本私立幼稚園連合会
第 39 回東北地区私立幼稚園教員研修大会〈岩手大会〉**

大会事務局

〒020-0024

岩手県盛岡市菜園一丁目 3-6 農林会館 6 階

一般社団法人岩手県私立幼稚園・認定こども園連合会

Tel 019-654-1434 Fax 019-654-1437

<http://iwakids.ciao.jp/>